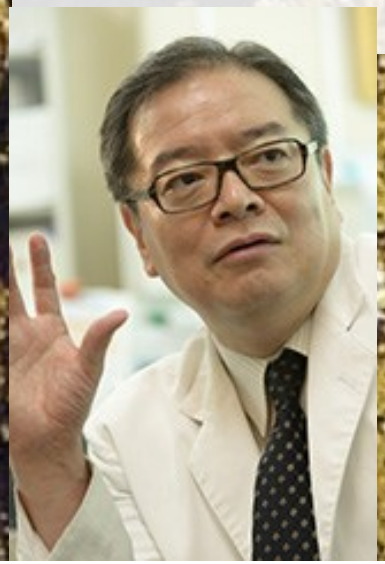
若手内分泌外科医の会



東京大学 胃食道･乳腺内分泌外科
甲状腺担当　山下 智

若手医師をつなぐ「内分泌若手の会」

第37回内分泌外科学会2025年5月22日S1-3
シンポジウム１：内分泌外科医の教育：若手医師が求めるもの

山下　智[1,2]

1) 東京大学医学部附属病院　胃食道・乳腺内分泌外科

2) おおたかの森西口クリニック　内分泌外科

ある内科医からの鋭い指摘

『そもそも耳鼻科でできることなのに、なぜ内分泌外科医を増やす必要があるの？』

若手をつなぐプラットホーム

- 内分泌外科学は、外科、耳鼻科、内科（内分泌内科・腫瘍内科）、泌尿器、放射線、病理、小児科、女性科などの幅広い領域をまたぎ、内分泌器官の診療と治療を担う重要な分野。
- 課題：医師数の減少、診療科への理解不足、研修環境の限定
- 医学生や若手医師の間では、内分泌外科が具体的にどのような役割を果たすかが十分に知られていない現状があり、進路としての選択肢に入りづらいという問題も指摘。
- これらの課題を克服するためには、若手医師や医学生を対象に、内分泌学の魅力や重要性を発信するとともに、学びと交流の場を提供する仕組みが必要である。その一環として、若手医師や医学生をつなぎ、内分泌分野での成長を支援する「プラットフォーム」を立ち上げた。大学や病院間での緩やかなネットワークを構築し、オンラインプラットフォームを通じた交流、専門知識の共有やキャリア支援を行っていきたい。
- 特に、症例検討や手術動画等といった実践的なコンテンツの提供、ロールモデルとなる医師との交流機会を創出し、若手へ魅力を伝える機会を重視したい。これにより、若手医師同士の相互交流支援を促進し、内分泌領域への関心を高めるとともに、将来の医療現場を支える人材の確保を目指したい。
- 我々の使命は、先人から受けついだ知識や技術を絶やさず継承し、若手医師が安心して将来像を描きキャリアを築ける環境づくりを支え、以て業界全体の発展に寄与することと考える。業界全体で若手を大切に育てていく雰囲気を醸成していきたい。

目次

- 自己紹介
- 東大内分泌外科の紹介・手術症例数・特徴-多職種連携-
  - 若手育成とプラットホーム
  - 将来性

自己紹介

楽しい外科学 The Fascinating World of Surgery

手術が楽しいッ!、臨床が楽しいッ!、研究が楽しいッ!

氏名：山下智
医師年数：１６年
役職：助教
卒業：東海大学
初期研修：東京医大
前期外勤：同愛記念病院外科
後期外勤：国立国際医療センター食道胃外科
大学院：病理部で研究
→院内唯一の内分泌外科医へ

東大外科プログラム

初期研修が他院（東京大学病院以外）の場合

	3年目	4年目	5年目	6年目	
初期研修	東京大学 6ヶ月	連携施設 2年6ヶ月	外科専門医試験	各科入局 大学院 関連病院	本試験 6年目 11月

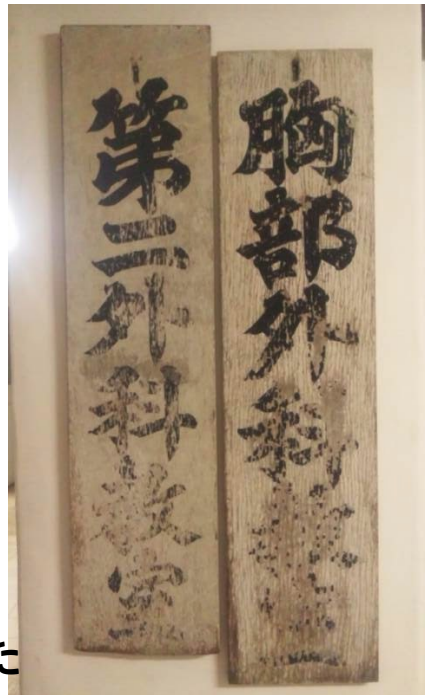
胃食道乳腺

肝胆膵

前期外勤：同愛記念病院

東大胃食道

初期研修仲間



第二外科が一番大変だった

オーベンのロブション感謝会

後期外勤：国立国際医療センターレジ時代

医師6～8年目山下 智手術症例数

2015年4月～2017年3月

	症例数
全症例	433
術者	152
助手	281

フェローとして後輩の手術前立ち

はじめての海外学会

ISDE
The International Society for Diseases of the Esophagus
15th WORLD CONGRESS
Sept.19 - 21, 2016
SINGAPORE
Join The Conversation Online
@ISDE_net
ISDEsophagus
www.isde.net

研修医たちとシンガポール

かけがえのない同僚に恵まれ

結婚・出産を経て

NCGM外科の大医局を卒業

東大内分泌外科の紹介

楽しい外科学 The Fascinating World of Surgery

手術が楽しいッ!、臨床が楽しいッ!、研究が楽しいッ!

そもそも内分泌外科とは

ホルモン異常による病気（内分泌疾患）を診療し、診断やホルモン臓器に対しての外科的治療を専門にする。内分泌内科に呼応する形で産まれ、専門医は全国に僅かで、専門性と希少性の高い分野。発祥は東大卒 藤本吉秀Dr

一般外科をベースに体表外科である甲状腺や副甲状腺、乳腺、腹腔内では副腎、膵臓を専門に扱うことが一般的。現在当科では甲状腺・副甲状腺疾患を扱う。

良性疾患	バセドウ病、プランマー病、橋本病、腺腫様甲状腺腫（縦隔甲状腺腫を含む）、原発性/続発性副甲状腺機能亢進症
悪性疾患	甲状腺癌、副甲状腺癌

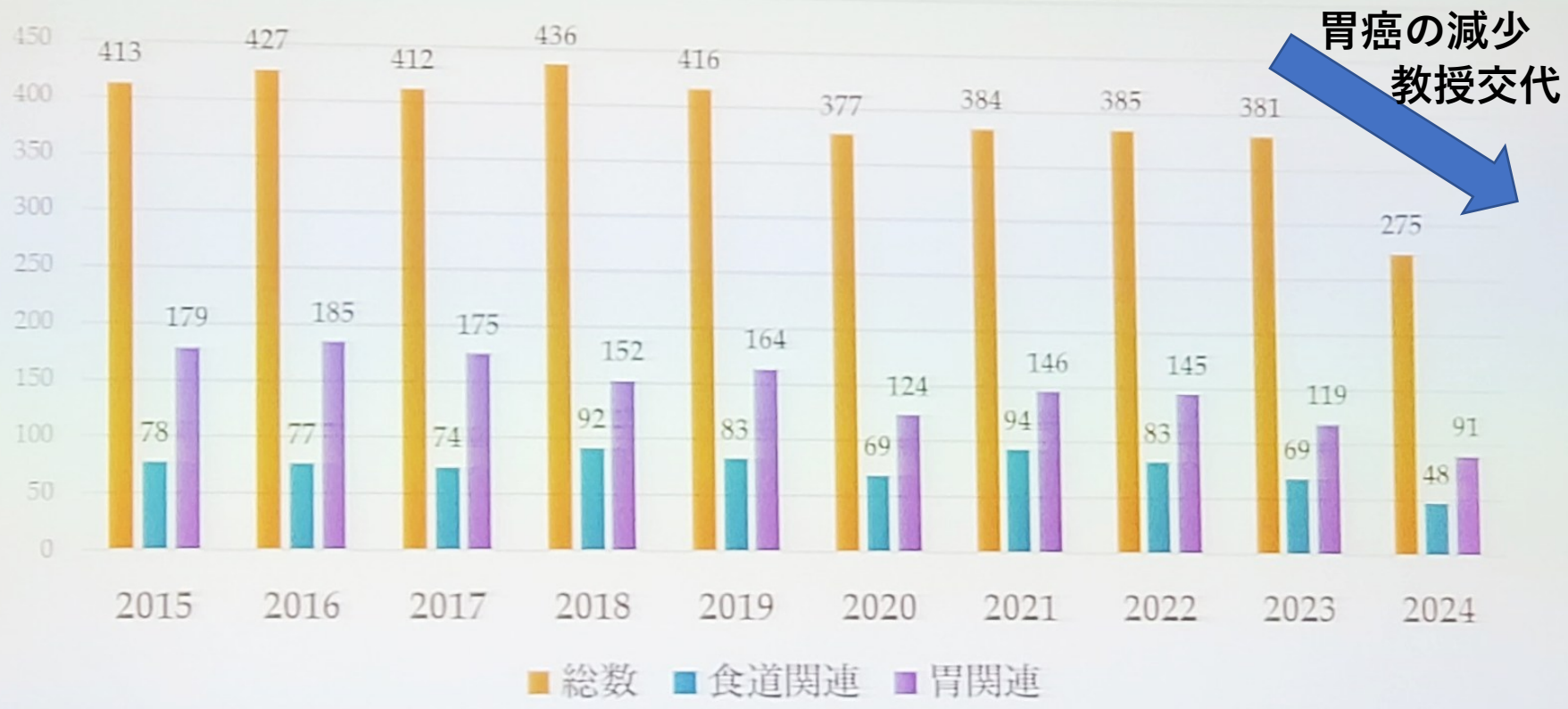
甲状腺疾患の潜在的な罹患者数は多く、日本人の3割程度に甲状腺疾患をもつ可能性が指摘されている。また、女性に多い疾患で、落ち着いた経過を生涯にわたって経過観察していくことが一般的である。

手術やエコーガイド下穿刺手技のみならず、内分泌の知識や診断学、頚部超音波、ホルモン値や血清カルシウム・ビタミンD値の解釈などの内科的知識も要求される。専門医が少ない特殊診療科であるからこそ患者さんに求められるやりがいのある仕事です。

東大第三外科胃食道乳腺内分泌のメンバー　矢印乳腺内分泌外科

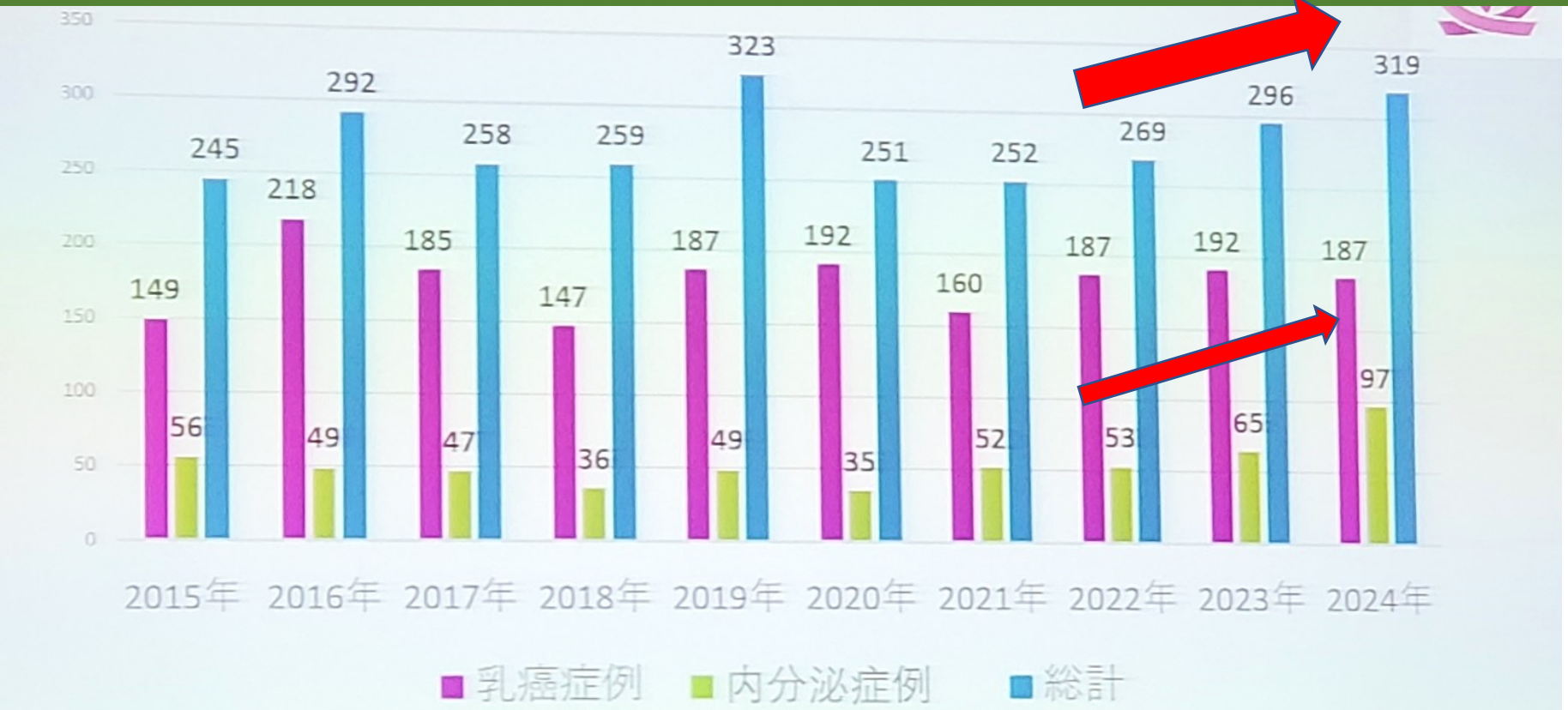
乳腺内分泌外科　乳4人甲1人

胃食道外科　手術件数



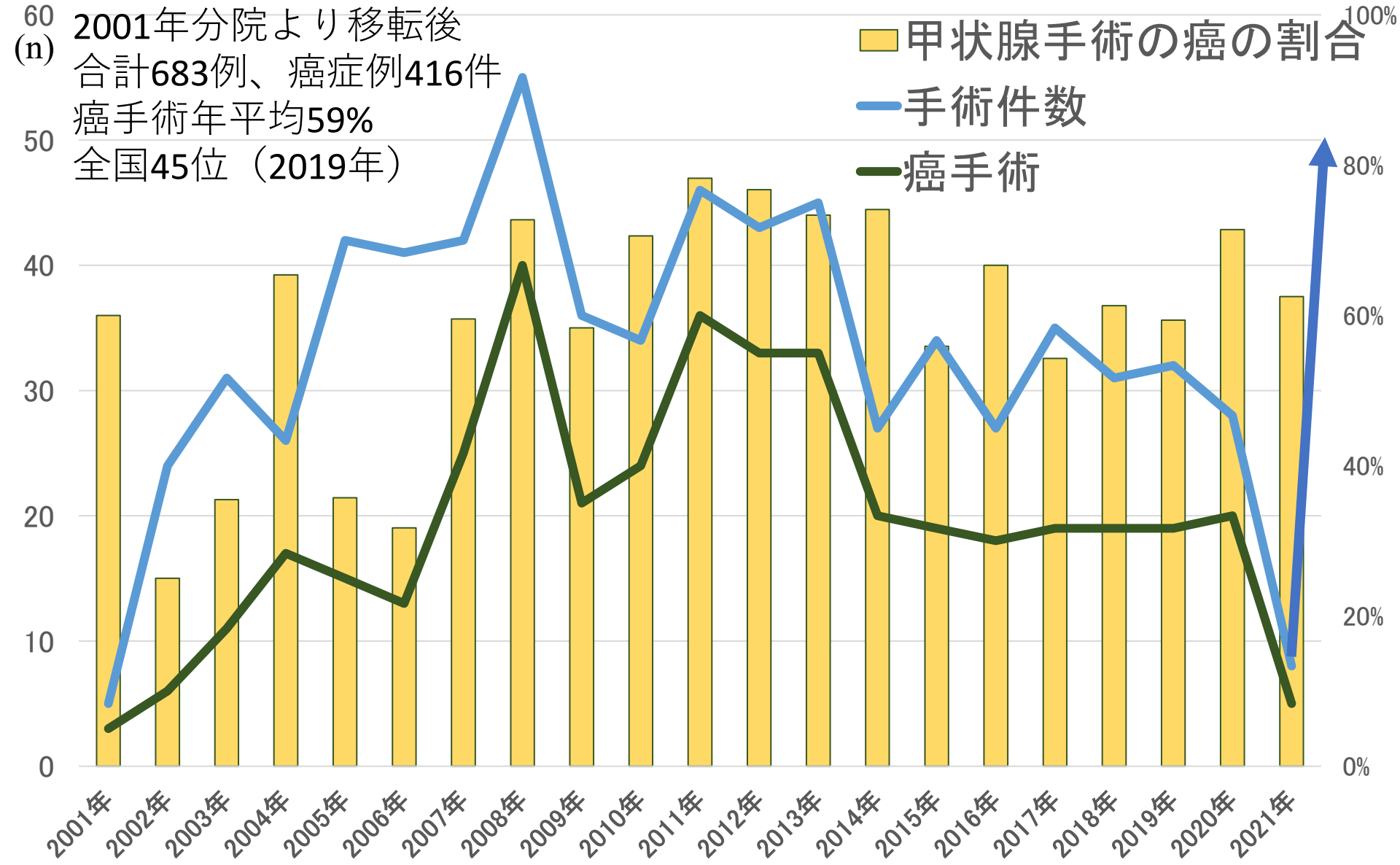
食道癌切除 40例		胃癌切除 57例 開腹		胃癌切除 57例 鏡視下（ロボット含む）	
✓ ロボット支援下食道切除	27	✓ 胃全摘	7	✓ 胃全摘	4
✓ 縦隔アプローチ切除	6	✓ 幽門側胃切除	11	✓ 幽門側胃切除	24
✓ 胸腔鏡下食道切除	3	✓ 噴門側胃切除	2	✓ 噴門側胃切除	8
✓ 咽頭喉頭食道摘出	3	✓ 残胃癌手術	1	✓ スリーブ	2

乳腺内分泌外科　手術件数



術式	2023年	2024年
✓ 乳房全切除術	120	121
✓ 乳房部分切除術	69	64
✓ リスク低減乳房切除術	3	3
✓ 甲状腺手術	46	74
✓ 副甲状腺手術	19	23

開局以来の当科甲状腺手術の推移　最近は100件
東大は全国36位　関東15位（2023年）



東大病院関東10位

医療機関名	手術（件）	切除部分（腺葉）	全摘・亜全摘	分子標的薬治療の患者数（人）
伊藤	658	399	259	28
東京医大	232	66	166	14
金地	218	80	138	2
日本医大	124	97	27	4
昭和医大 ◆	108	84	24	2
がん研有明	91	56	35	7
順天堂大	83	62	21	4
都立多摩総合医療セ	77	43	34	4
三井記念	65	39	26	—
東京大	62	39	23	3
東京女子医大	61	39	22	8
お茶の水甲状腺ク	※58	44	14	0
杏林大	41	31	10	4
東邦大大森	41	30	11	3
慈恵医大	37	25	12	2
東京医大八王子医療セ	33	29	4	3
国立がん研究セ中央	27	17	10	7
慶応大	27	16	11	1
武蔵野赤十字	24	21	3	0
南池袋パークサイドク	23	16	7	1
日大板橋	21	19	2	8
虎の門	20	18	2	1
ＮＴＴ東日本関東	19	16	3	1
慈恵医大第三	19	12	7	1
公立昭和	19	7	12	0
東京科学大	18	12	6	2
市立青梅総合医療セ	17	16	1	1
帝京大	13	9	4	0
聖路加国際	12	8	4	0
日本歯科大学	11	2	9	11
国・東京医療セ	10	7	3	6
東海大八王子	9	9	0	1
国際医療福祉大三田	7	6	1	2
日赤医療セ	7	6	1	1
ニューハート・ワタナベ国際	7	2	5	0
都立大塚	1	1	0	0

内分泌外科の名門
東京女子医大を抜いたのには驚愕！

近年クリニックが手術症例数を集めているのも特徴

2023年治療実績　読売新聞多摩地区2025年4月27日朝刊

東大病院内分泌外科の連携

内泌内科医　耳鼻科医　外科医　放科医　呼外科医　形成

キャンサーボード

院内

周術期外来　専属の医師クラーク

垣根の低い
雰囲気
コンサルトし易い

酒井康生：日麻会誌42(3):262-268,2022.
より改変

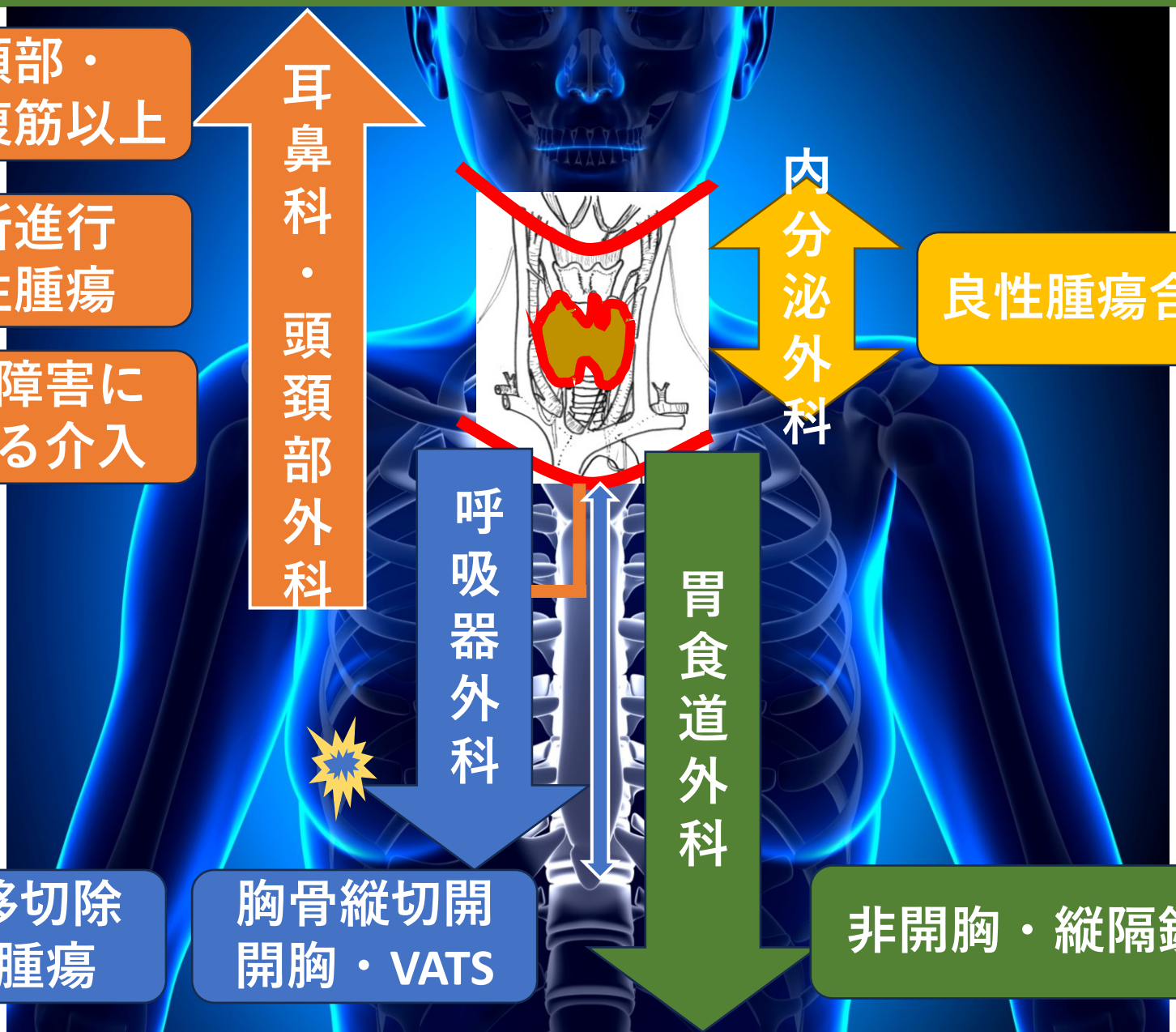
院外

伊藤病院　金地病院　日本医大　女子医大　国がん東　獨協越谷

診療所

おおたかの森西口クリニック　市川駅前本田内科クリニック

主な外科系診療科の棲み分け



上頸部・
顎二腹筋以上

局所進行
悪性腫瘍

嚥下障害に
対する介入

耳鼻科・頭頸部外科

内分泌外科

良性腫瘍含む

呼吸器外科

胃食道外科

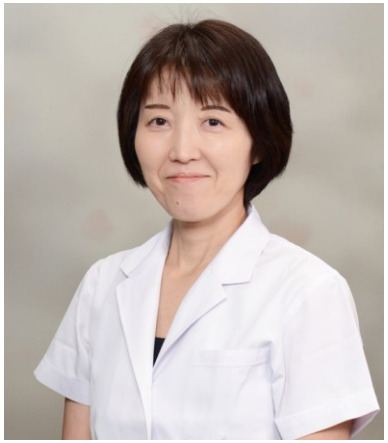
肺転移切除
縦隔腫瘍

胸骨縦切開
開胸・VATS

非開胸・縦隔鏡

東大病院の強み＝連携力

- 関係部署：内分泌内科、耳鼻科・嚥下、放射線科、リハビリ、栄養NST、呼吸器外科、形成外科、胃食道外科

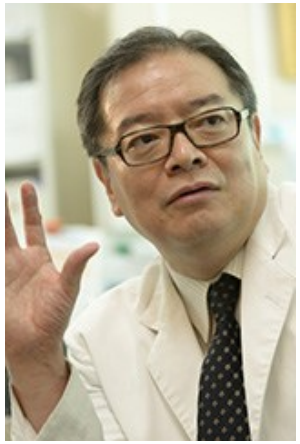


内分泌内科
槙田Dr

耳鼻科頭頸外科
齊藤Dr

呼吸器外科
中尾Dr

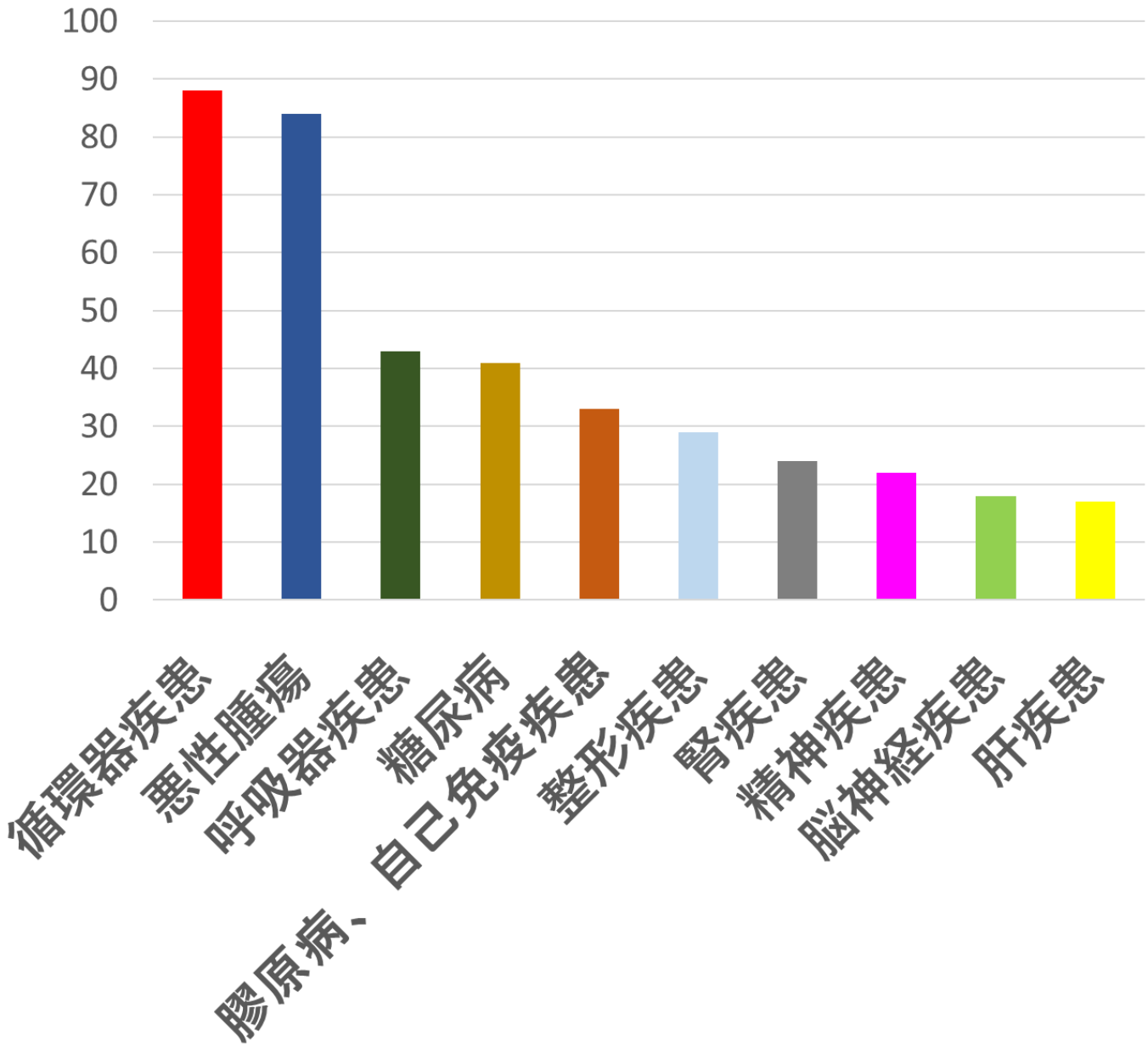
放射線科
扇田Dr



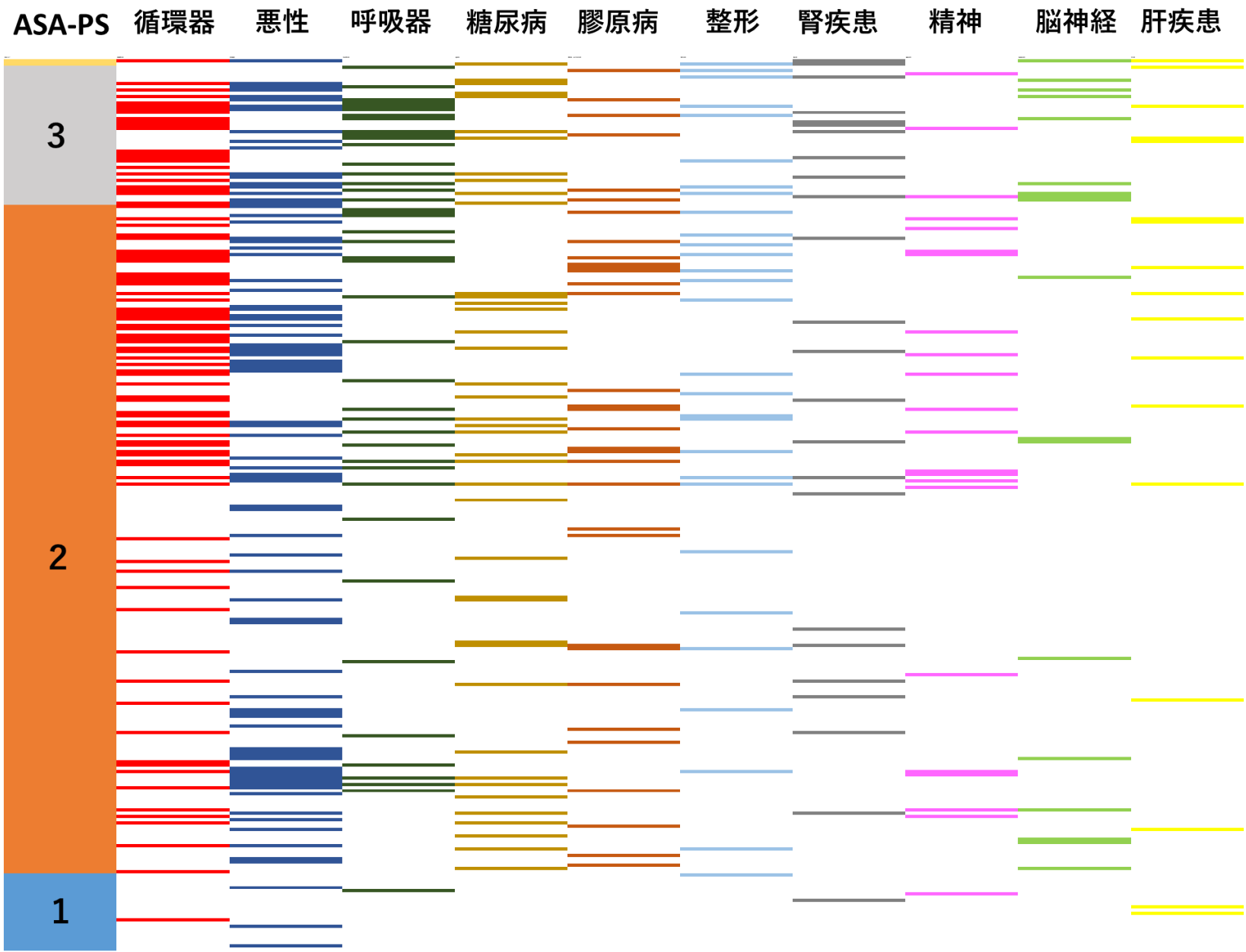
胃食道外科
瀬戸Prof

- 耳鼻科腫瘍グループ齊藤先生、放射線科扇田先生、形成外科藤澤先生に電話で気軽にコンサルトし合える関係　助け合いの気持ち
- 病棟勉強会通して病棟Nsとの連携
- 自分一人では微力、就任直後に前任者離任し不安があったが、支えてくれる皆様の仲間意識に支えられている。

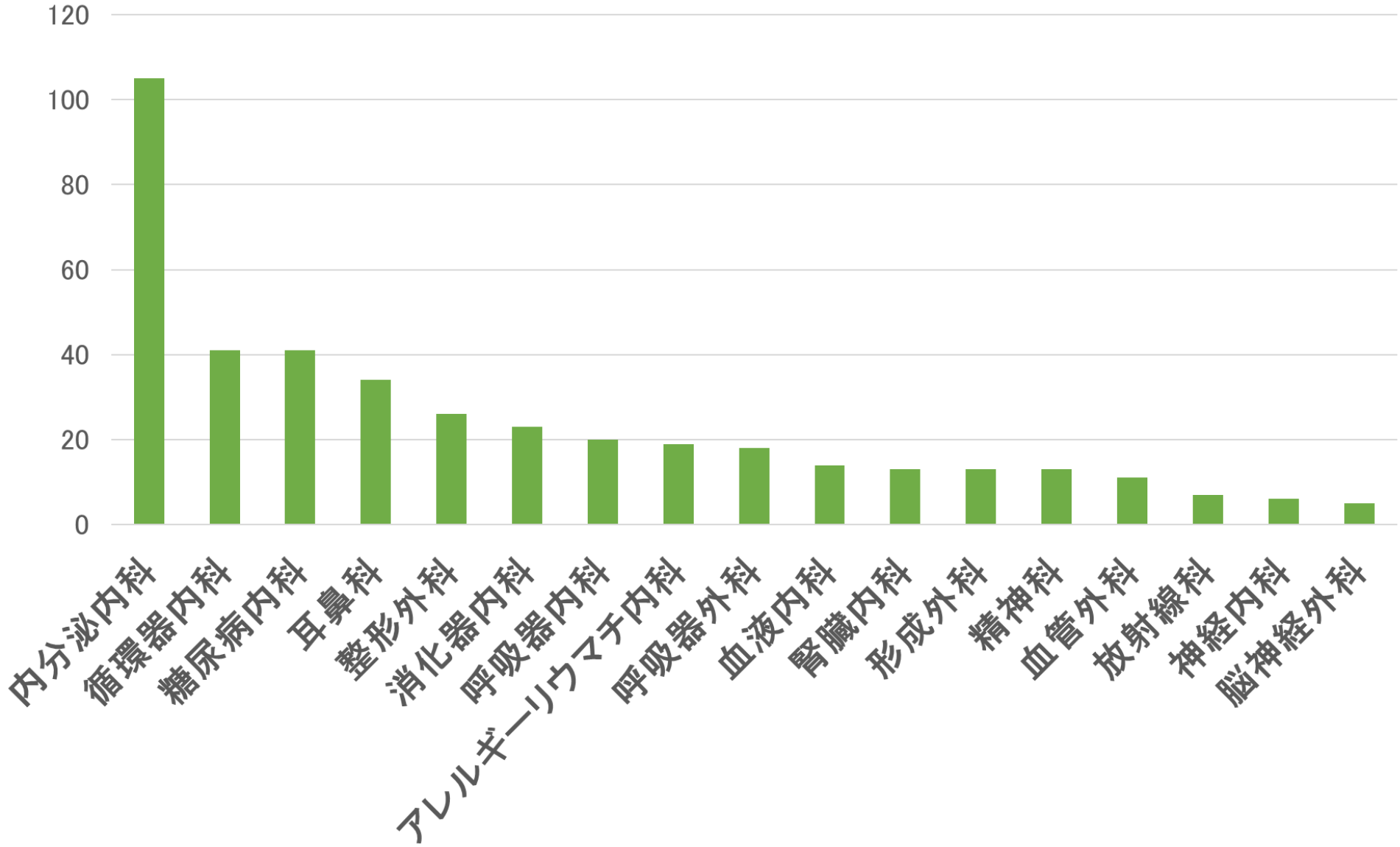
東大手術症例の基礎疾患の内訳



ASA-PSと基礎疾患



併診科・コンサルト数（麻酔科・歯科口腔外科以外）



若手育成と
プラットホーム

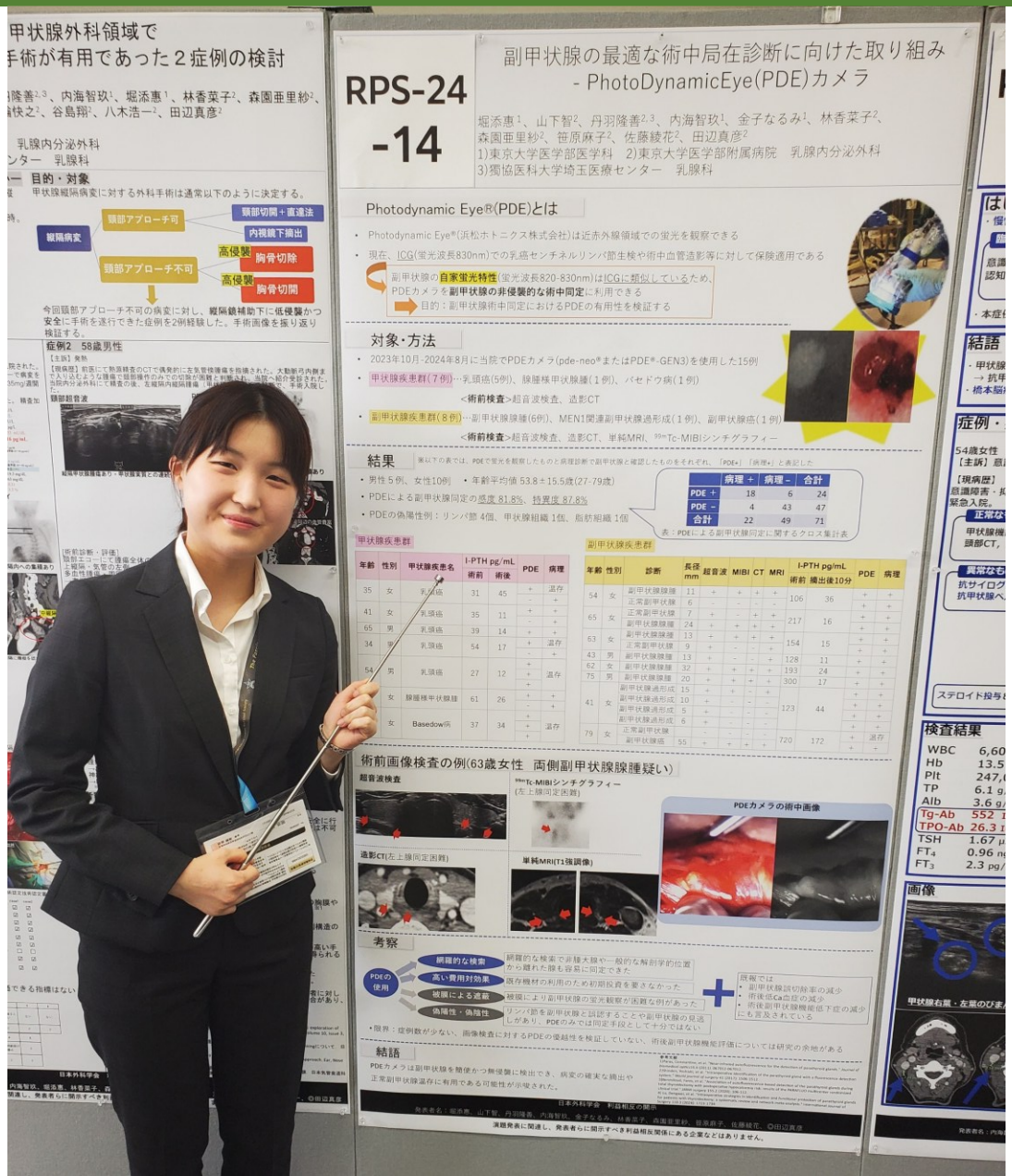
楽しい外科学 The Fascinating World of Surgery

手術が楽しいッ!、臨床が楽しいッ!、研究が楽しいッ!

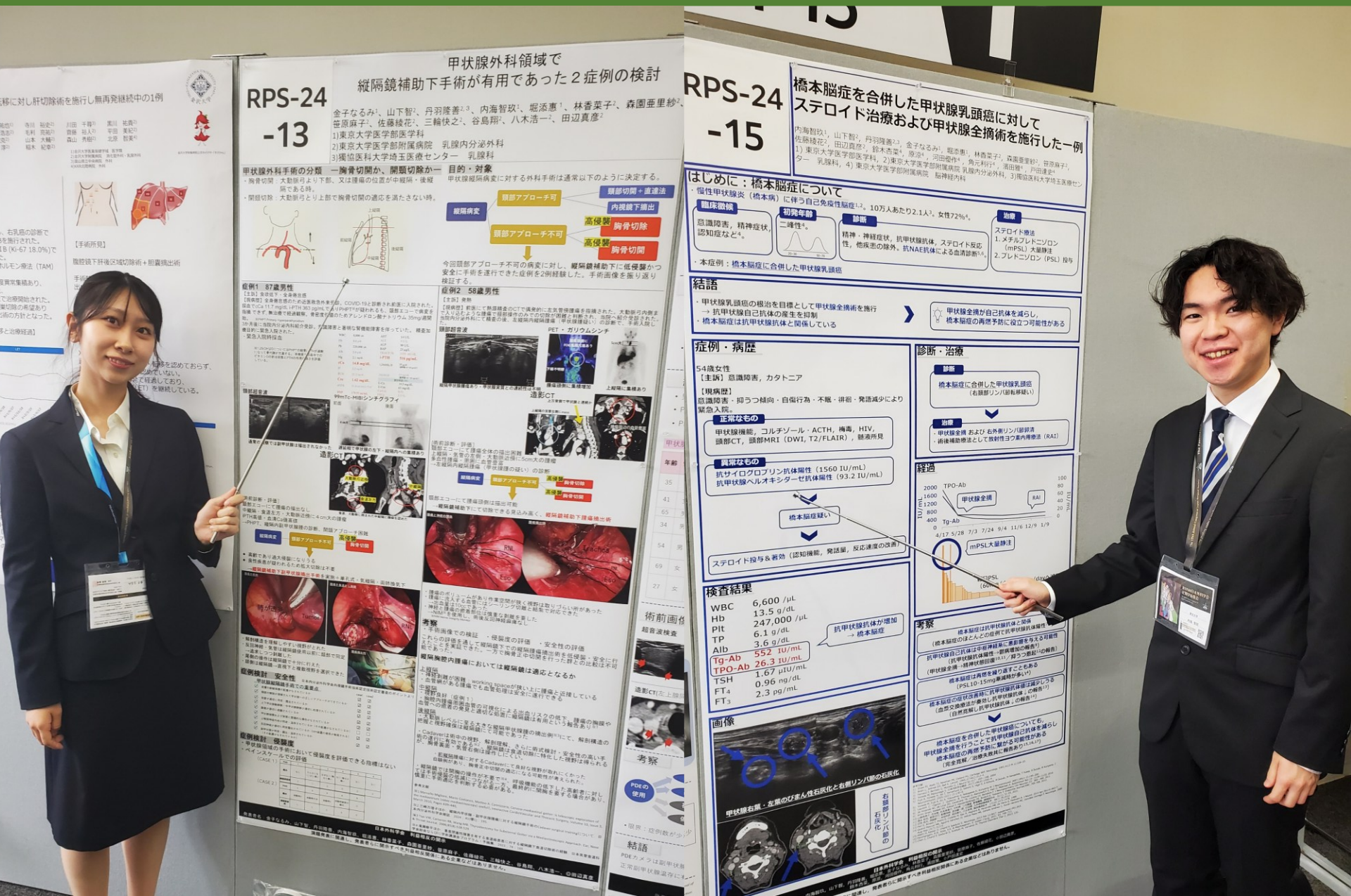
2025年　外科学会＠仙台

早朝予演会2025年外科学会仙台

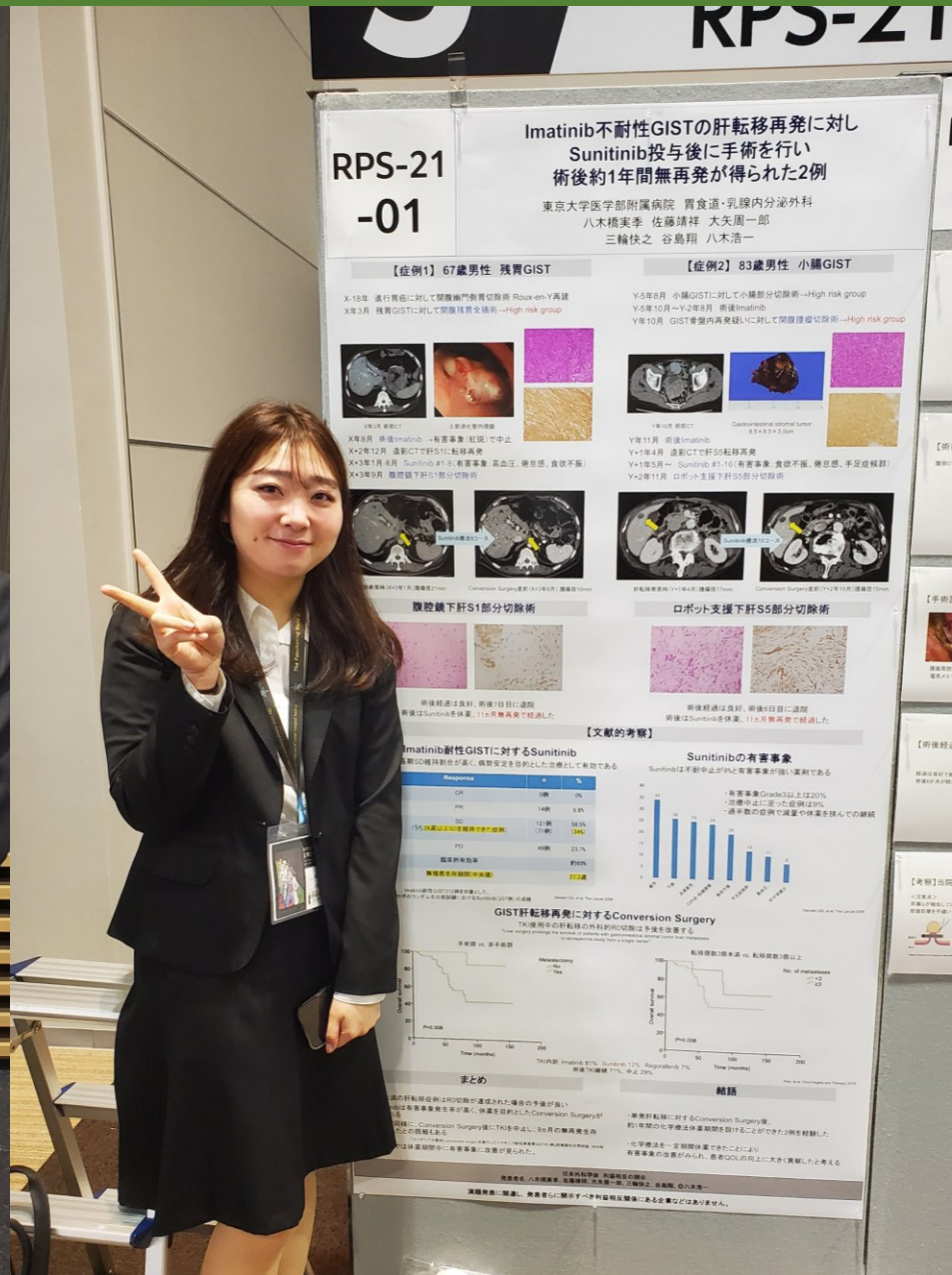
医学生6年生　堀添恵さん



5年生金子なるみさん内海智玖君



専攻医望月Dr・八木橋Dr発表



合同懇親会　国立国際+鹿児島大

遊ぶとき遊ぶ

2026年外科学会北海道も募集中

- 5年黒瀬君：希少癌 副甲状腺癌5例の臨床病理学的検討
- 5年永田さん：乳腺疾患

若手をつなぐプラットホーム

- 内分泌外科学は、外科、耳鼻科、内科（内分泌内科・腫瘍内科）、泌尿器、放射線、病理、小児科、女性科などの幅広い領域をまたぎ、内分泌器官の診療と治療を担う重要な分野。
- 課題：医師数の減少、診療科への理解不足、研修環境の限定
- 医学生や若手医師の間では、内分泌外科が具体的にどのような役割を果たすかが十分に知られていない現状があり、進路としての選択肢に入りづらいという問題も指摘。
- これらの課題を克服するためには、若手医師や医学生を対象に、内分泌学の魅力や重要性を発信するとともに、学びと交流の場を提供する仕組みが必要である。その一環として、若手医師や医学生をつなぎ、内分泌分野での成長を支援する「プラットフォーム」を立ち上げた。大学や病院間での緩やかなネットワークを構築し、オンラインプラットフォームを通じた交流、専門知識の共有やキャリア支援を行っていきたい。
- 特に、症例検討や手術動画等といった実践的なコンテンツの提供、ロールモデルとなる医師との交流機会を創出し、若手へ魅力を伝える機会を重視したい。これにより、若手医師同士の相互交流支援を促進し、内分泌領域への関心を高めるとともに、将来の医療現場を支える人材の確保を目指したい。
- 我々の使命は、先人から受けついだ知識や技術を絶やさず継承し、若手医師が安心して将来像を描きキャリアを築ける環境づくりを支え、以て業界全体の発展に寄与することと考える。業界全体で若手を大切に育てていく雰囲気を醸成していきたい。

若手をつなぐプラットホーム

- 東大医学部の学生
- 東大病院研修医
- 東大関連病院で研修中の医師
- 東大医学部・東大病院のOB医師

外科医をめざす
若手医師・医学生の
プラットフォーム

このプラットホームでできること

手術動画の視聴

甲状腺・副甲状腺手術の動画を含む、実践的な手技解説動画を提供

診断技術の学習

術前診断のポイント、エコー診断、頚部手術の安全な実施基準

外来診療サポート

術後フォローアップのポイント、患者説明資料の提供

キャリア形成サポート

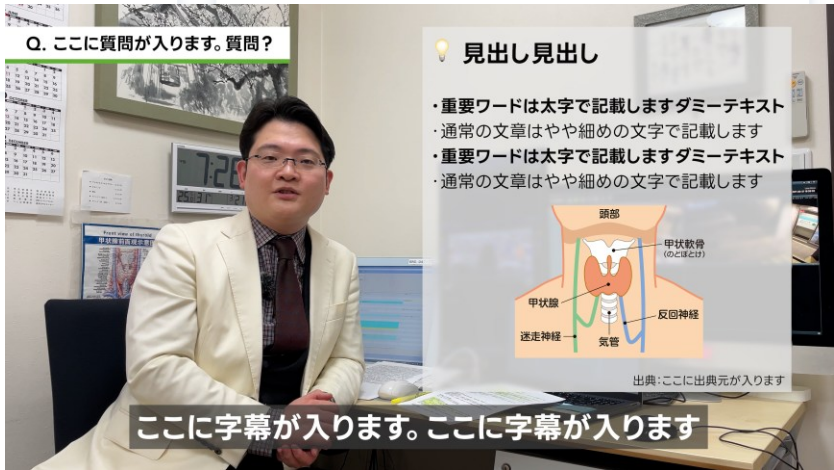
若手医師向けの勉強会、専門医取得情報、外科医のキャリアガイド

メンバー同士の交流促進

若手医師や医学生同士のネットワーク構築、ロールモデルとの対話

最新情報とイベント案内

研修説明会、学会・セミナーの開催情報



将来性

土曜1日の内分泌外科外来収益

総合計（円）			107240	68710
総合計（点）		73260	35742	23239
総　件　数	62　件	61	34	15
	10%税対象	0	8%税対象	
			社保	国保

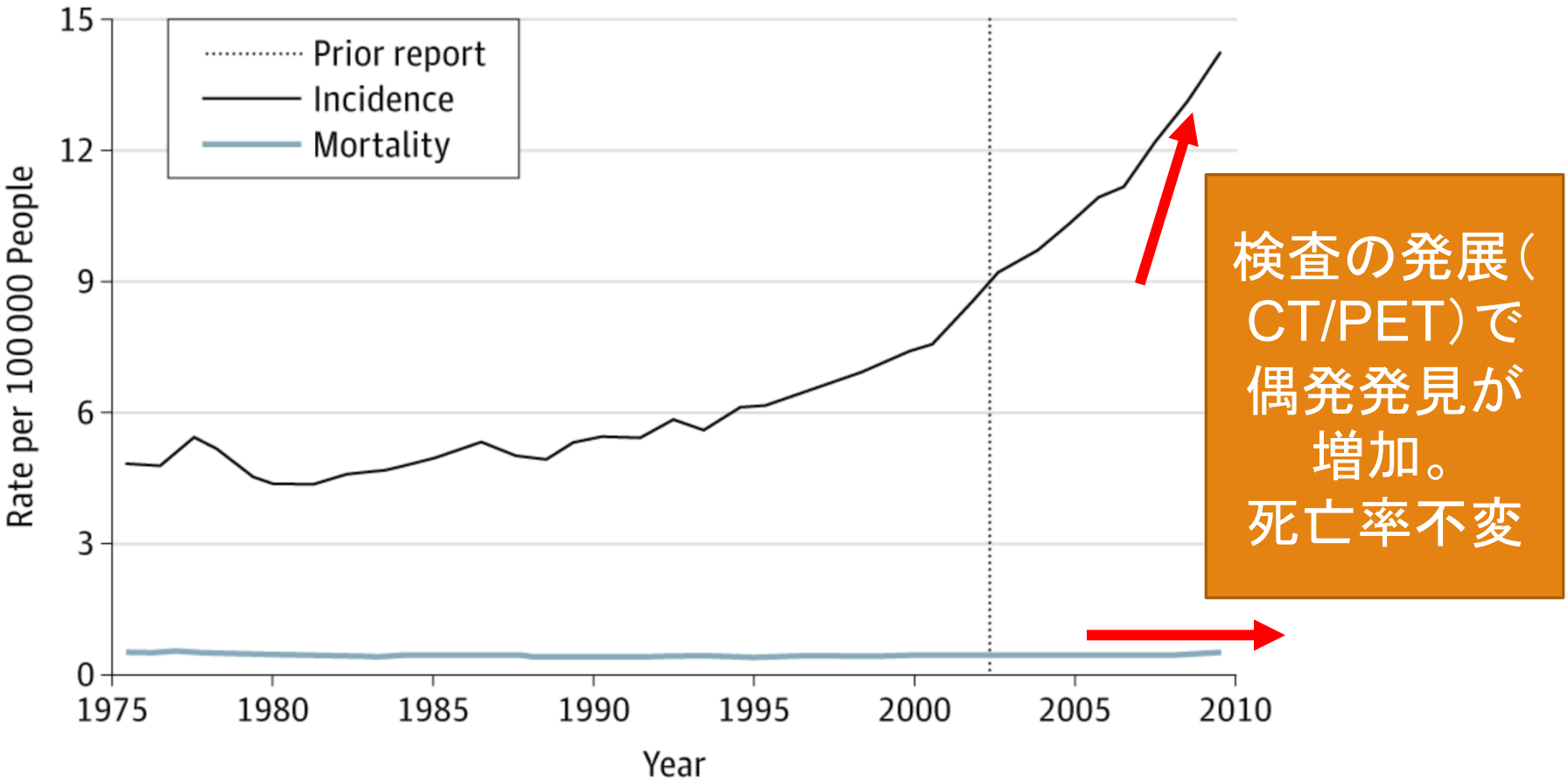
62人で
73万円

- ●内分泌は開業にも役立つ
- ●甲状腺外科が出来れば甲状腺内科もできる
- ●エコー一本で開業可能
- ●エコー＋採血で窓口収入3割6～7千円約2万円、1日10人患者さんみれば収益確保
- ●甲状腺採血はTgAb TRAb　免疫学的判断料が算定
- ●甲状腺疾患は特定疾患管理料の算定可能
- ●処方のみでも3割負担で窓口収入約1500円(3割)
- ●患者さんを一生涯にわたってフォロー

内分泌外科医を取り巻く課題

- 外科医の減少は著しい。一般外科が減少する中で内分泌外科も減少衰退する未来は容易に予想される。
- しかし、中国の癌統計の動向もそうであるように内分泌疾患、甲状腺癌の発見率は健診普及により20%増加、女性癌の第四位と今後増加の一途をたどっている。
- 患者需要と医療供給のアンバランスが生まれている。
- これからの高齢化社会を迎えるにあたり、多併存疾患をかかえる患者が増えて、甲状腺単科専門病院での管理よりは、総合病院での手術適応となる患者が増えてくる。
- 日本の内分泌外科診療は、伊藤、隈、野口、金地、山下といった専門病院に患者も専門医師も集中するが、とりわけ大学病院や地域総合病院での内分泌外科は標榜科や在籍医局員もすくなく、多くの外来患者を抱えて多忙を極めている。
- 我々のような希少外科に対する目に見えた保護措置や将来的な抜本的解決策の提案はなく、
- 押し寄せてくる患者に対して、数少ない専門医師が責任感をもって日々の診療にあたっている。多忙な先輩達の姿をみて、入ってくる後輩も少ない。
- 外科医の保護、新たな若手外科医師育成に対する具体的な対策や予算確保についてなどが必要

Thyroid Cancer Incidence and Mortality



Thyroid Cancer Incidence and Mortality, 1975 to 2009Trends are shown for thyroid cancer of all histologic types. Incidence data are from Surveillance, Epidemiology, and End Results (SEER) 9, 1975 to 2009, maintained by the National Cancer Institute, National Institutes of Health, released April 2012, based on the November 2011 submission. Mortality data are from the National Center for Vital Statistics.

JAMA Otolaryngol Head Neck Surg. 2014;140(4):317-322.

甲状腺腫瘍の疫学

甲状腺癌罹患率　（2014年）
男性　6.6人
女性　17.9人
（10万人当たり）
甲状腺癌死亡率　（2017年）
男性　0.9人
女性　1.9人

中国では、甲状腺がんの発生率は毎年20%ずつ増加、都市部の女性で4番目に多い悪性腫瘍。

<u>罹患率は増えつつ</u>あるが、<u>死亡率はほぼ横ばい</u>
しかし甲状腺診療医・内分泌外科医は希少、専門医<u>400人</u>
ほぼ<u>専門病院</u>（伊藤・隅・野口）＋金地に医師と患者が集中
併存症多数ある総合的治療が必要な患者への手術が課題

甲状腺外科の活動と目標

専門医育成

- 外科医人材確保
- 術者100例に早期到達
  →術者集約化　手術ﾄﾚｰﾆﾝｸﾞ
- 手術症例数↑　紹介患者数↑
- 甲状腺外来定型化 受入体制↑
- 技術継承・後進の人材育成
- 動画撮影による検証
- 同じ手術を繰り返し
- 短時間で確実な反回神経処理

安全な手術

- 他科・多職種連携のチーム医療による周術期管理 麻酔嚥下ﾘﾊ
- 多併存症への対応 術前院内ｺﾝｻﾙﾄ
- 内分泌内科・耳鼻科の協力体制
- 手術・術後管理の定型化
- デバイス：NIM反回神経ﾓﾆﾀﾘﾝｸﾞ、ﾘｶﾞｼｭｱ ﾊﾞｲｸﾗﾝﾌﾟ
- 皆が見える術野づくり術野ｶﾒﾗ
- 安定した術者・助手メンバー